

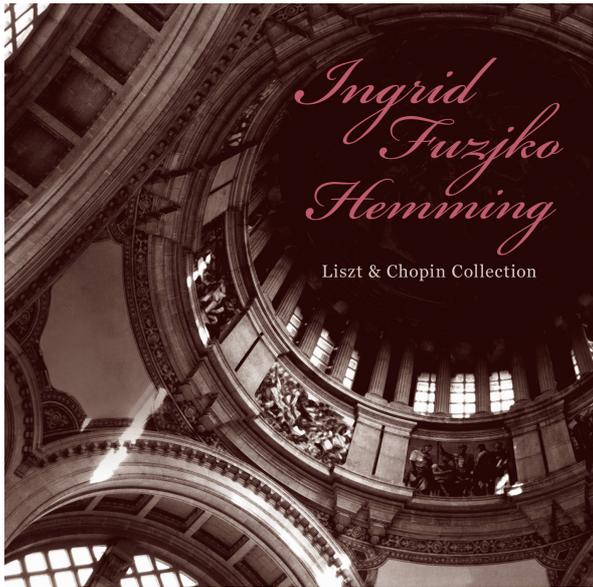
イングリット・フジコ・ヘミング

“リスト & ショパン コレクション”

Artist: イングリット・フジコ・ヘミング

Title: リスト・ショパン・コレクション

フジコ・ヘミング 全曲ロンドン録音による
リスト・ショパンの名曲を収録した極上のコレクションアルバムが登場!!



■ 収録曲 ■

01. ラ・カンパネラ (パガニーニによる大練習曲 S.141の3) <リスト>
02. ため息 (3つの演奏会用練習曲 S.144の3) <リスト>
03. 愛の夢 <リスト>
04. ノクターン 第2番 変ホ長調 Op.9の2 (ショパン)
05. 泉のほとりで (巡礼の年 第1年「スイス」 S. 160の4) (リスト)
06. ワルツ第1番変ホ長調作品18 «華麗なる大円舞曲» (ショパン)
07. エチュード 第5番 変ト長調 <黒鍵> 作品10の5 <ショパン>
08. パガニーニによる大練習曲 第6番 (リスト)
09. エチュード 第3番 ホ長調 <別れの曲> 作品10の3 <ショパン>
10. ノクターン 第20番 嬰ハ短調 遺作 (ショパン)
11. ノクターン 第1番 変ロ短調 作品9の1 (ショパン)
12. エチュード 第1番 変イ長調 「エオリアン・ハーブ」 作品25の1 (ショパン)
13. 3つの新しいエチュード 第1番 へ短調 (ショパン)

RELEASE: 2012.5.30

¥ 3,200(tax in) / ¥ 3,048(tax out)

No. : YZDI-10041

JAN : 4560255251832

■プロフィール

フジコ・ヘミング東京音楽学校(現・東京芸術大学)出身のピアニスト、大月投網子とロシア系スウェーデン人画家/建築家ジョスタ・ゲオルギー・ヘミングを両親としてベルリンに生まれる。

5歳の時、帰国。以来母の手ひとつで東京に育ち、5歳から母投網子の手ほどきでピアノを始める。
また10歳から、父の友人 だったロシア生まれドイツ系ピアニスト、レオニード・クロイツァー氏にも師事。

青山学院高等部在学中、17歳でデビュー・コンサートを果たす。また、東京芸大在学中には、毎日コンクール入賞、文化放送 音楽賞など多数受賞。

東京芸大卒業後より、本格的な演奏活動に入り、渡辺暁雄指揮による日本フィルなど、数多くの国内オーケストラと共演。その後28歳でドイツへ留学。
ベルリン音楽学校を優秀な成績で卒業。

その後長年にわたりヨーロッパに在住し、演奏家としてのキャリアを積む。

1999年8月25日に発売されたファーストCD『奇蹟のカンパネラ』はこれまでに200万枚を売り上げるという、クラシック界異例の大ヒット。このCDは日本ゴールドディスク大賞、各賞のクラシック・アルバム・オブ・ザ・イヤーを受賞。

また、今販売されているCDは、クラシックの世界で売り上げもトップを独走し続けており、公演活動で多忙を極める中でも、米国 同時多発テロ後の被災者救済のために1年間CDの印税を全額寄付を決定や、アフガニスタン難民のためにコンサートの出演料を寄付したりと、人を愛し人を支援し続ける事を忘れないのも彼女の人間味溢れる魅力のひとつで、その優しさは猫や犬をはじめ動物愛護への深い関心と援助を長年続けていることにも現れている。

発売元：DIAA株式会社 www.diaa.net

DIAA DIAA株式会社 〒154-0023 東京都世田谷区若林1-8-3 中銀若林マンション502 TEL: 03-6450-8068 FAX: 03-6450-8068

イングリット・フジコ・ヘミング

“リスト & ショパン コレクション”

東端哲也氏によるライナーノーツ

イングリット・フジコ・ヘミング『リスト&ショパン コレクション』

20世紀末日本の音楽シーンに彗星のごとく現れ、デビュー・アルバムでクラシックの演奏家としては異例のCDセールスを記録し、初の本格的なコンサート・ツアーのチケットも発売と同時に完売。ジャンルを超えて、音楽ファンの胸にその存在が深く刻まれたピアニスト、イングリット・フジコ・ヘミング。

あれから十数年が過ぎたが、その活躍は今も続いている。2002年の末にパリにも自宅を構えた彼女。今では数々の海外オーケストラからソリストとして招待を受け、世界各国で定期公演に出演。その名声は欧米諸国にも広がった。2012年もフランスやベルギーでのソロ・リサイタルに続き、4月にはベラルーシ国立交響楽団との公演で来日し、その後もリサイタルで全国をまわり、12月にはラトビア国立交響楽団との日本公演が予定されているという。

そんなスター・ピアニストをここで改めてどう紹介すればいいのか悩むところだが、今やクラシック界は常に新しいリスナーに門戸を開き、“飛び込み客”も大歓迎という世界。『リスト&ショパン』という2人の偉大なピアノ作曲家(しかも同時代のパリを生き、親交もあった)の名前にひかれてこのアルバムを手にしたという方や、どこかで“フジコ”という名前に聞き覚えがあったという方、これからクラシックのピアノ曲を聴いてみようと思われた方、などなど、ここではそんなクラシック入門者を主に対象として、ピアニスト、イングリット・フジコ・ヘミングの魅力を紹介したいと思う。

とはいえ、テクニックや奏法、楽譜の解釈といった難しい音楽論の話をしよというわけではない。彼女の魅力、それはピアノ演奏によって浮かび上がってくる、波乱に満ちたそれまでの半生で味わった重みや痛み、苦悩の果てに見出した希望の光、天に支配された運命の力...といった、極めて感情的な側面。つまり彼女の人生そのものが演奏を輝かせているという単純な構図であり、要するにその生き様自体がとても魅力的な人なのである。

日本人ピアニストの母と、ロシア系スウェーデン人美術デザイナーの父を両親にベルリンで生まれ、5歳の時に一家で日本に移住するも、やがて父にはスウェーデンに去られる。母の手ほどきでピアノに目覚め、将来を有望視されるが、無国籍のために留学は叶わなかった。赤十字難民として出国して、ベルリン国立音楽大学に留学できたのは29歳になってから。30代後半になってやっとウィーンでチャンスを探し、世界的な指揮者のレナード・バーンスタインの後押しでリサイタルも決定するが、その直前に風邪をこじらせて聴力を失ってしまう。その後は耳の治療を受けながらスウェーデンで国籍を取得。ヨーロッパ各地でピアノ教師をしながら演奏活動を行い、母の死を機に1995年、日本に帰国。細々と演奏活動を続けながら、猫とひっそり暮らしていたが、1999年2月にNHK制作のドキュメンタリー番組『フジコ～あるピアニストの軌跡』が放送された直後、全国から問い合わせが殺到。一躍時の人となる。その結果は冒頭で書いた通り。ちなみにデビュー・アルバム『奇蹟のカンパネラ』はこれまで200万枚の売上を記録している。

以上がイングリット・フジコ・ヘミングの半生である。人々は彼女の演奏にそれら全てを重ね合わせ、胸が張り裂けんばかりの感動を覚えたわけであるが、ただ、もしそれだけだったなら、“運咲きの女流ピアニスト”として単なる“ひとつのブーム”で終わってしまったかもしれない。彼女はそのキャラクターもまた強烈で実に個性的。飾らず、気取らず、飄々としていながら、子どものようにピュアな性格。信心深く、いつも貧しいものや弱者の味方。その歯に衣着せぬ発言で、時には日本のクラシック業界を鋭くぶった斬ったりもする。自分の演奏についても「私は機械じゃないんだから、いつも同じような気持ちでピアノを弾くことなんてできない。小さなミスを問題にするより、どういう音で私らしく弾くか、それが問題。私だけの音を大事にして。誰が弾いても同じなら、私が弾く意味なんかじゃない」(『フジコ・ヘミング 運命の力』より)といった発言で物議を醸すこともあった。しかしそれに加えて、米国同時多発テロの犠牲者救済のためにCDセールスの印税を全額寄付したり、アフガン難民のためのチャリティー活動、動物愛護への深い関心と援助を長年続けていることなど、人間味溢れる人となりが大いに魅力的なのも、彼女が根強い人気を維持している大きな理由であると思われる。

さて本アルバムは、かつてドイツの大家評論家に「ショパンとリストを弾くために生まれてきた」とも評された彼女にふさわしい極上の選曲。2008年12月にロンドンで行われたレコーディングの音源を中心としたベスト盤ともいえる1枚である。以下で曲目について簡単にふれたい。

発売元：DIAA株式会社 www.diaa.net

DIAA DIAA株式会社 〒154-0023 東京都世田谷区若林1-8-3 中銀若林マンション502 TEL: 03-6450-8068 FAX: 03-6450-8068

イングリット・フジコ・ヘミング

“リスト & ショパン コレクション”

01. ラ・カンパネラ (パガニーニによる大練習曲 第3番 S.141の3) / リスト

デビュー・アルバム『奇蹟のカンパネラ』にも収録され、演奏会でも何度となくとりあげてきた、イングリット・フジコ・ヘミングの代名詞のような楽曲。リストが、イタリアの鬼才ヴァイオリニスト、パガニーニの演奏に衝撃を受け、彼の超絶技巧をピアノに移したような難解なエチュード(練習曲)として書き上げた作品のひとつ。鳴り響く鐘の音を模した。「私の性質そのものが音になって、自然に全て出てしまう」と彼女。

02. ため息 (3つの演奏会用練習曲 S.144の3) / リスト

こちらもデビュー・アルバムに収録されていた。優雅で親しみやすく、ロマンティックなサロン風エチュード(練習曲)のひとつ。文字通り“ため息”を模したような曲想。

03. 愛の夢 / リスト

デビュー・アルバムに収録。リストが自作の歌曲をもとにして書いたピアノ曲の第3番。「愛よ、その限りあるうちに、いつまでも愛せ」という元々の歌詞が持つ情熱的な雰囲気と、シンプルな美しい旋律で親しまれている。

04. ノクターン 第2番 変ホ長調 作品9の2 / ショパン

デビュー・アルバムに収録。最も有名なノクターンのひとつで、これもショパンの代表曲。往年の映画『愛情物語』のテーマに使われたことで人気を決定づけた。

05. 泉のほとりで (巡礼の年 第1年「スイス」S.160の4) / リスト

デビュー・アルバムに収録。『巡礼の旅』と題された4巻からなる名高いピアノ曲集の第1巻。恋人だったダグー伯爵夫人と訪れたスイスでの思い出を綴った「スイス」の第4番。高度な演奏技術が盛り込まれた難曲。

06. ワルツ 第1番 変ホ長調 作品18《華麗なる大円舞曲》 / ショパン

ワルツは19世紀にウィーンを中心に流行した3拍子の舞曲だが、ショパンの作品では舞踏を伴わない演奏会用楽曲。よく知られた旋律は優雅にして軽快。

07. エチュード 第5番 変ト長調《黒鍵》作品10の5 / ショパン

表題通り右手は黒鍵ばかりを弾く。エチュード(練習曲)とは本来、演奏技巧の習得を目的とした楽曲だが、ショパンやリストの場合は単に練習の枠を超えた芸術的な小品が多い。

08. パガニーニによる大練習曲 第6番 / リスト

パガニーニ作曲の「24のカプリース」最終曲をリストがピアノに編曲したもの。アクロバティックな超絶技巧が情緒豊かに炸裂する。

09. エチュード 第3番 変イ長調 <別れの曲> 作品10の3 / ショパン

練習曲の枠を超えたショパン随一の人気曲。クラシカル・クロスオーバーのヴォーカリストによって、歌詞を付けてカバーされることも多い。

10. ノクターン 第20番 嬰ハ短調 遺作 / ショパン

ノクターン(夜想曲)とは表情豊かで哀愁を帯びた小品。この作品はショパンの死後に草稿が発見され、出版された「遺作」のひとつ。

11. ノクターン 第1番 変ロ短調 作品9の1 / ショパン

ショパンにとって最初に出版されたノクターンの冒頭を飾る曲だが、叙情的な曲想と詩情にあふれた旋律で人気を集める代表曲のひとつ。

12. エチュード 第1番 変イ長調「エオリアン・ハーブ」作品25の1 / ショパン

デビュー・アルバムに収録。牧歌的な曲想が、雨を避けた羊飼いが洞窟で笛を吹き鳴らしているイメージを想起させる、と解釈した人がいたようだ。

13. 3つの新しいエチュード 第1番 変イ短調 / ショパン

ショパンが当時の偉大なチェコ人ピアニスト、モシュレスが編集する練習曲集のために書いたとされる作品。

発売元：DIAA株式会社 www.diaa.net